

# 第 42 回 町田市保健医療協議会

平成 26 年 7 月 24 日(木)午後 7 時 00 分

町田市医師会館

## 町田市保健医療協議会とは

町田市・町田市保健所と、町田市医師会・町田市歯科医師会・町田市薬剤師会・町田市民病院・八王子労働基準監督署町田支署・町田消防署等の関係機関で、町田市の保健医療行政の向上を目的として、毎年協議を行っています。

本報告書は、町田市医師会から提示した議題部分のみを掲載しています。

## 議 題

—町田市医師会—

ア) 生活保護受給者の確認方法について

イ) 急患センター設立を含めた夜間休日医療提供体制に関する協議会の設置について

ウ) BCG個別接種化に向けた検討

エ) 予防接種相互乗り入れ-相模原市・横浜市・川崎市-

オ) 各種ワクチンへの公的助成について

カ) アレルギー管理指導表の公費化

キ) 休祝日の外科系当番における診療内容の周知について

## 議題ア 生活保護受給者の時間外の確認方法について

町田市医師会

町田市では医療券を持っていない方が来院した場合、平日の午後 5 時までは医療機関が生活援護課に電話連絡をすれば、受給者資格を確認できる。しかし、午後 5 時以降や土日の救急等に医療券を持たずに突然来院される方も多く、受給者資格を確認できないため、改善を求めたい。

夜間・土日の受診時にも医療機関窓口で確認できることが一番良いが、それが無理ならば医療券のない夜間・土日の受診時の費用は自費になるのか、市が費用保証するのか、町田市が方針を決めて、受給者に確実に伝えてもらうことが必要。

近隣の相模原市では生活保護を受給していることの証明書を全員に配付していると聞く。町田でも発行する予定はないか。

### ○回答(町田市地域福祉部生活援護課)

急迫した状況などで、生活保護受給者が医療券を持たずに休日当番医等にかかる場合、医療機関には東京都の「指定医療機関のしおり」等に記載されている通り、受診後、月曜日に市役所にご連絡をいただければ、市役所からすぐに医療券を送る対応でお願いしている。

東京都福祉保健局が出している「医療扶助の事務の手引き」では、休日等に医療券を持たずに受診した際には、保護決定通知書を提出して、翌日早々に医療券を送る対応をとるとの指示が出ている。保護決定通知書を持たずに診療を受け、自費で支払っている場合には、後日、生活保護受給者が医療機関に医療券を持参し、医療機関の窓口から生活保護受給者に返金をしていただいている。

相模原市で受給者証を配布していることは存じ上げている。東京都等に確認したところ都内の23区・市町村では配布しているところはなかった。

### ○意見(町田市医師会)

受給者が医療券を持たずに休日・夜間等、急病で医療機関を受診する際、保護決定通知書を持参するということは、受給者に周知されているのか。医療機関は受給資格を確認する方法が必要なので、医療券がない場合に保護決定通知書を持参していただくよう受給者に伝えていただくことは可能か。

### ○回答(町田市地域福祉部生活援護課)

生活保護受給者には、受給開始時に制度全般にわたる説明を『生活のしおり』を使って行っている。その際に医療券を持たずに受診すると、土日も含めて実費を負担して後日精算になること等を周知している。

医療券の取り扱いは、4月の基準改定時の保護決定通知書発行の際や、毎月一度全保護世帯に配付し

ている『福祉だより』の中でも周知している。急迫の場合は別だが、医療券を必ず事前に申請をして、交付を受けて受診することは多くの機会に周知して浸透していると思っているが、不十分ということはもちろんあるので、今後もより一層徹底していきたい。

保護決定通知書を持参することは具体的には周知していないので、持参している方はあまりいないかと思う。今後周知していきたいと思う。

## 議題イ 急患センター設立を含めた夜間休日医療提供体制に関する協議会の設置について

町田市医師会

町田市の救急医療施設について具体的な構想を協議する会を定期開催してほしい。協議内容として、休日昼間の小児の休日当番にかわる施設や、内科準夜診療所、歯科休日診療所、さらに調剤薬局を併せた施設を設置すべきか等がある。具体的な進展をお願いしたい。

### ○回答(町田市いきいき健康部健康総務課)

市民の健康を確保して安心して生活していただくために、地域医療体制の充実が不可欠であると認識している。町田市医師会、各医療機関、薬剤師会にご協力いただき、準夜急患こどもクリニック、休日当番医など、365日24時間、安心な医療体制の確保を目指して、体制を整備しなければいけないと考えている。

とりわけ小児救急医療体制は今まで思うように進まず、ご指摘をいただいていたところである。市民からのご要望もあり、より早急に協議、検討していかなければいけないと考えており、7月31日に医師会と市民病院にご出席をいただき、第1回連絡会の開催を予定している。この会をきっかけとして、今後の町田市の医療体制について検討していける場を数多く持っていただけると考えている。

### ○意見(町田市医師会)

小児救急連絡会の開催はありがたいことで、ぜひ前向きに建設的な対話ができればと思う。この会は現状の小児救急体制をどうするかを協議する会だが、今回の提議内容は、もっと全体的な、センターを含めた市の構想を俯瞰的に見る場をつくってほしいということなので、ぜひご検討をお願いしたい。

## 議題ウ BCG個別接種化に向けた検討

町田市医師会

結核予防接種BCGを製造している「日本ビーシージー製造」が行った全国調査によると、平成 26 年度は全国の自治体数 812 のうち、79.4%が個別接種を行っている。近隣では相模原市・八王子市も個別接種である。0歳児の予防接種は非常に数が多く、BCGが集団接種の日程のみだとスケジュールを組むのが困難になる。市民のためにBCGの個別接種化をお願いしたい。

### ○回答(町田市いきいき健康部健康課)

乳児は結核に対する抵抗力が大変弱く、発病すると重症化することがある。BCGは結核を予防するワクチンで、特に結核性髄膜炎等の予防に効果があると言われている。BCGワクチンの接種方法は主に二通りあり、集団接種の方法と指定医療機関で接種する個別接種の方法がある。現在、町田市は集団接種を実施している。

昨年 4 月の法改正により、BCGの接種期間が生後 6 ヶ月までであったのが 1 歳までになったことから、他の予防接種との兼ね合いで全国的にも個別接種化の動きが高まっているのではないかと認識している。東京都においても個別接種化を推奨しているため、今後町田市においても予防接種委員会等で検討を進めさせていただければと思う。

## 議題エ 予防接種相互乗り入れー相模原市・横浜市・川崎市ー

町田市医師会

南多摩地区 5 市では、一昨年度から高齢者インフルエンザの相互乗り入れが開始された。現在、子どもの定期接種の相互乗り入れを来年度から実施できるように、南多摩地区の医師会間で協議を始めている。町田市は、相模原市・横浜市・川崎市に囲まれていて、3市からの患者さんもかなり多い。都道府県を越えた広域化は難しいと思うが、実現が可能かどうか、技術的にどのような問題があるかを教えていただきたい。

### ○回答(町田市いきいき健康部健康課)

相模原市・横浜市・川崎市との相互乗り入れにより、市民はかかりつけ医療機関で安心して接種を受けることができ、一次的な費用負担の軽減となるので、利便性の向上が図れると思う。予防接種行政に、神奈川県との大きな隔たりはそれほどないと思うが、まずは双方の違いがどの程度あるかを調査して把握することから取り組む必要があると考える。

①麻しんフォローについて

5月から町田市内の専門学校で10例を超える集団発生麻しんがあった。これは21歳以上で麻しんの2回接種を受けていない人がまだ多くいることが原因だが、今回の集団発生も9割方は町田市外の方だったので、町田市だけがフォロー接種を行っても全体的な効果は少ないかもしれない。ただ、町田市内での2次感染、3次感染を予防する効果はあるだろう。八王子市が行っているように、21歳未満で麻しんワクチンを2回接種していない人に対して、以前行っていたフォロー接種を再開できないか。

②小児用肺炎球菌ワクチンについて

定期接種になった平成25年4月の時点では7価のワクチンで行われていたが、現在は13価のワクチンに変更されている。7価で4回の定期接種が終了していても、1回だけ13価を打てば、13価全体をカバーできる。7価のワクチンを打っていても細菌性髄膜炎にかかってしまうことがあるので、公費の補助での追加接種をお願いしたい。全国的にも多くの地域で部分助成を行っているので、ご検討を願う。

○回答(町田市いきいき健康部健康課)

ご提案いただいた二つの任意助成については、私たちも有効性を十分認識している。今後、検討できるような場を設けて、一緒に考えていければとは考えている。

## 議題カ アレルギー管理指導表の公費化

町田市医師会

医療機関が管理指導表やアレルギー指示書を記載する場合の費用が決められていないため、各医療機関が自由に決めている。医療機関によって無料・有料のところがあり、有料でも金額が異なり、保護者に混乱や不満が生じている場合も多く見受けられる。市で一律に公費化していただきたい。

現在は管理指導表がばらばらで、記載内容が曖昧な場合や正しくない場合も含まれている。管理指導表が一律になり公費化になれば、市・学校・園・保護者・医療機関の間で共通認識を持ち問題点を解決できると思う。また、学校と保育園や幼稚園とは足並みが違うようなので、できれば統一した動きをとっていただければと思う。

公費化の準備で必要なこととして、①園・学校の対応をある程度統一化し、個別的な対応を行う場合も広く理解を得ておくこと、②管理指導表作成について医師が習熟すること、が挙げられる。また、腎疾患、心疾患の管理指導表もあわせて公費化をお願いしたい。

### ○回答(町田市学校教育部保健給食課)

アレルギー疾患に対する学校での対応は、文部科学省の定める『学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン』において、学校生活管理指導表に基づいて行うこととされている。学校生活管理指導表は、日本学校保健会が作成した書式を使用している。食物アレルギーに関しては、町田市独自に作成した「対応の手引き」に基づいた対応を平成 25 年度より全校で実施している。その中でも給食の対応は、学校生活管理指導表を必ず提出していただくこととなっている。

発行にかかる文書料は保護者負担でお願いしている。ご提案のとおり医療機関によって金額が様々であることから、学校および保護者から公費負担の要望を少なからずいただいております。公費負担の必要性は認識している。特に必要性が高いと思われる就学援助世帯は、公費による補助を平成 26 年度から開始した。

公費化にあたってはご提案いただいたとおり、管理指導表の統一的な取り扱い等、協議・調整させていただくことも多くあるので、医師会・学校・庁内関係部署で協議の上、検討させていただきたい。

### ○回答(町田市子ども生活部子育て支援課)

保育園については、公立保育園5園において、今年度から生活管理指導表を導入し、アレ



ルギーの対応をしている。費用は保護者負担になっている。

今後は、62 園ある私立保育園、36 園ある私立幼稚園、認証保育所、家庭的保育ママ等の施設においても、生活管理指導表の導入を進めたいと考えている。ただ、現在はアレルギー対応について各施設で対応の仕方があるので、今後統一的な対応がとれるよう、情報提供や周知を図り、調整していきたいと考えている。学校とも情報交換を行い検討したい。

公費化の方法は、登園許可証を参考にしたいと思っているが、医師会と調整を図りながら公費化に向けて検討していきたい。

### ○意見(町田市医師会)

登校・登園許可証は公費になっていて、管理指導表が公費になっていないのはおかしい。管理指導表は診断書かつ治療指示書でもあって、登校・登園許可証に比べて我々のストレスはずっと大きい。より繊細な心遣いが必要とされる腎疾患・心疾患の管理指導表も、合わせて公費化をご検討いただければと考えている。

### ○意見(町田市民病院)

市民病院では、アレルギーの事故が発生した患者さんを含めて、救急対応での受け入れをしている。ただ、小児科医が処置中などで手不足の場合が往々にしてある。あるいは専門医による対応が必要な場合等もある。受け入れが困難なケースもあるので、引き続き小児科医を確保するなど、体制の整備を進めていきたい。

### ○意見(町田市医師会)

学校・園で食物アレルギーが起きた時の対応は、行政・中心病院・主治医・学校との連携で初めて子どもを救える。処置中で対応できないのは、他の緊急の場合も同じことだと思う。予期して管理できるようなシステムをつくり、準備を整えればある程度対応できると思う。

管理指導表を作っていく中で、食物アレルギーの事故が起きた時に市民病院でどのような対応ができるのかという問題が起こると思うが、市民病院がバックアップして支えになってくれなければ、学校も主治医も非常に不安なところがあるので、関わってほしい。

### ○回答(町田市民病院)

今後の課題として、一緒に協議させていただきたい。

## 議題キ 休祝日の外科系当番における診療内容の周知について

町田市医師会

外科系の救急医療機関の当番は6機関で担っているが、外科系にもいろいろなタイプがあり、全てを網羅しているわけではない。特に骨折や脱臼等、整形外科の専門的な処置が必要なケースもある。外科系の当番病院が全部対応できるかという点、ほとんどできないのが現状であり、対応できない場合に患者さんに納得してもらえないことがあり困っている。

他の地区では、広報などの外科系救急医療機関の案内の中で、応急処置のみ行なうことや、専門的なことを全て行えるわけではないことが併記されているところもある。外科系当番医が行える診療範囲は、創傷に対する縫合処置や鎮痛処置といった応急処置であり、専門的な医療は行えないことを市にも再確認いただき、広報にも明記していただきたい。

### ○回答(町田市いきいき健康部健康課)

「広報まちだ」の市民カレンダーに、当番病院情報を含めた様々な医療情報を掲載している。市民からも掲載形式等についてご意見をいただくことがあるので工夫していきたい。